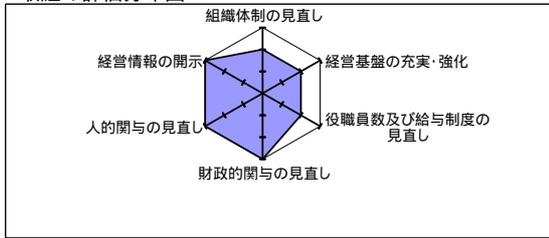


出資法人及び県所管課による評価(1次評価)

(財)今治地域地場産業振興センター

取組の評価分布図



個別取組項目の評価総括表

取組み項目	取組の目標達成の評価
組織体制の見直し	ある程度達成している。
経営基盤の充実・強化	ある程度達成している。
役員数及び給与制度の見直し	ある程度達成している。
財政的関与の見直し	十分達成している
人的関与の見直し	十分達成している
経営情報の開示	十分達成している

1 出資法人の自主性・自律性の向上に向けた取組

(1) 組織体制の見直し

【評価: ある程度達成している。】

創業支援の機能を付加するため、インキュベーションマネージャーの研修を4名が受講した。平成19年度においては、昨年度に引き続き金融機関から役員1名の派遣を受けるとともに、創業支援関係機関での研修を2名が受講する計画である。

(2) 経営基盤の充実・強化

【評価: ある程度達成している。】

今治市の補助・委託事業を活用して、産業支援のため各種セミナーや講演会等を開催するとともに、情報の収集や人材発掘に努めた。

【18年度2次評価に対する対応】

- ・今治市の監督を受けつつ、業務の見直しや管理コストの削減等に努め、一層の経営基盤の充実・強化に努めるよう提言のあったことについて収益事業部門の充実・強化を図り、地場産業支援と財政基盤の安定・強化に努める。
- ・経済環境の変化に対応した新たな事業展開に努め、経営基盤の強化を図るよう提言のあったことについて貸館利用の促進を図るとともに、ネットショップ・催事等の即売部門を強化し、「収支見通し」に基づく財政基盤の強化に取り組む。

(3) 役員数及び給与制度の見直し

【評価: ある程度達成している。】

適材適所の人員配置を行う一方、平成18年度に「いまばりタオルブティック」としてネットショップを立ち上げたこと、平成19年度より当センター内を改装し、インキュベーション施設を整備することから、センター機能のより一層の強化のため2名の増員を行った。

2 県の関与の適正化に向けた取組

(1) 財政的関与の見直し

【評価: 十分達成している】

補助金交付は平成17年度までとなっており、現在、県の財政的関与は行われていない。なお、出捐金については、従前どおり継続している。

【18年度2次評価に対する対応】

- ・財政的関与の見直しについて、事業の成果や関係機関との役割分担などに留意して行うよう提言があったことについて「売れるものづくり」の支援を中心とした事業を実施することにより、今治地域のタオル産業の再生に貢献した。現在、県及び(株)今治繊維リソースセンターが実施している技術支援、販路開拓事業等と連携し、平成19年度以降は当法人の自主努力により引き続きタオル産業の振興を図っていく方針である。
- ・(株)今治繊維リソースセンターとの役割分担を明確にした上で効率的な事業を推進するよう提言があったことについて平成18年度より、両法人とも県の財政的関与は行われていないことから、今後とも両法人の自主努力により効率的な施策を行っていく。

(2) 人的関与の見直し

【評価: 十分達成している】

経済労働部長が継続して非常勤の理事に就任しているのみであり、県の関与は最小限となっている。

3 経営情報等の積極的な開示に向けた取組

【評価: 十分達成している】

H P により経営情報等を開示しており、積極的に取り組んでいる。

4 総合的評価

法人の自主性・自立性向上に向けた取組みとして、金融機関から役員派遣を受け入れるなど機能の充実を図るための組織体制の見直しが行われている。また、県関与の適正化については、財政的関与、人的関与とも計画どおりである。全般的に概ね計画どおり改革が実施できている。